

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2016年7月11日

明治学院大学 国際学部附属研究所 プロジェクトセミナー
“寛容”を超えて -移民と移民家族の社会包摂のための協働-

7月22日(金)開催 ※入場無料・申込み不要・逐次通訳あり

明治学院大学国際学部附属研究所は、プロジェクトセミナー「“寛容”を超えて-移民と移民家族の社会包摂のための協働-」を7月22日(金)に横浜キャンパスで開催します。

本セミナーでは、タイ、ミャンマー、カンボジアでグローバル・サプライチェーンや移民の社会包摂のための国を超えた市民活動ネットワーク「メコン移住ネットワーク」からの報告と、日本における移民・難民の支援現場の報告から、日本に住む私たちのグローバル化の課題を考えます。日本で生活する私たちの食料、衣類、電子機器など多くのモノはメコン流域諸国とサプライチェーンで密接につながっています。その裏には、経済的、政治的に安定した生活のために、故郷を離れて働き、生活を営む人々がいます。しかし、移民や難民として移住した人々は移住先で社会的に排除されやすく、社会包摂のための協働が必要です。

ぜひ本セミナーの告知ならびに取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

プロジェクトセミナー「“寛容”を超えて -移民と移民家族の社会包摂のための協働-」

■日時: 2016年7月22日(金) 16:45~19:15 ■入場: 無料、事前申込み不要 ■定員: 100名

■場所: 明治学院大学 横浜キャンパス 8号館 823教室 (〒244-8539 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 1518)

■内容: <第1部> **グローバル化の中のメコン河流域諸国と日本**

「グローバル・サプライチェーンと移住労働者」

ブラム・プレス(Director of MAP Foundation)、針間礼子 (Regional Coordinator, Mekong Migration Network)

「タイのカンボジア人労働者とシーフード」 ソクチャー・モム (Area Director, Legal Support for Children and Women)

「ミャンマー人技能実習生—日本への期待と失望」 テト・テト・アウン (88 Generation Peace and Open Society)

<第2部> **日本における移民・難民支援の現場から**

「移住者の日本における社会包摂—女性と子どもの支援の現場から見える課題」

新倉久乃 (特定非営利活動法人女性の家サーラー理事)

「在日インドシナ難民の現在—現場からの声」 トルオン・ティ・トウイ・チャン (横浜市泉区生活相談員、ベトナム語通訳)

■司会: 齋藤百合子 (明治学院大学国際学部准教授、共同研究代表者、MMN プロジェクトメンバー)

■主催: 明治学院大学国際学部附属研究所 共同研究『企業の社会的責任と市民の社会的関与の研究 (The Study of CSR and Civic Engagement)』

■共催: Mekong Migration Network (MMN) The project of “Beyond ‘Tolerance’ – Working Hand-in-hand to Promote the Social Inclusion of Migrants and Their Families” (2015年度トヨタ財団助成事業)

■お問合せ: 明治学院大学国際学部附属研究所 TEL 045-863-2267 <http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/>

取材のお問い合わせは… **明治学院大学 総合企画室広報課** 担当: 田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>